

# 平成18年4月1日～平成20年3月31日の間に 岡山市の基本健康診査を受けられた方へ

—「中高年者における生活習慣と要介護認定との関連性の検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院環境生命科学研究科  
研究責任者 岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授 津田敏秀  
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 浜田淳  
岡山大学地域総合研究センター 助教 山川路代  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 大学院生 劉陽洋  
岡山大学大学院環境生命科学研究科 大学院生 佐才めぐみ

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

世界の多くの国々で平均寿命が著しく延長した今、寿命の長さだけでなく、寿命の質に対する関心が高まってきました。健康寿命というのは、寿命の質を測る新しい健康指標であり、何らかの障害によって生活機能が低下し、介護が必要となる状態までの期間を表すものです。

研究によって、栄養バランスのよい食事、禁煙、適度な飲酒、身体の活動性を高めるといった生活習慣に気をつければ、介護が必要な状態に陥るのを予防できることが分かってきました。しかし、どんな生活習慣に最も気をつければよいか、具体的な生活習慣の取り方については十分に示されていません。

今後、更に少子高齢化が進行します。介護を必要とする高齢者の数が増加し、家族介護や介護保険制度の負担も増大することが予想されています。本研究の目的は、中高年者において要介護認定の予防につながる生活習慣を明らかにすることです。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究によって、一人ひとりが生活習慣を見直し、健康寿命の延伸につながる生活習慣を心がけることができれば、健康の維持・増進につながり、要介護状態に陥るのを防ぐことができます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

平成18年4月1日～平成20年3月31日の間に岡山市による基本健康診査を受診した方（55900名）を研究対象とします。

### 2) 研究期間

2017年3月倫理委員会承認後～2019年3月31日

### 3) 研究方法

平成18年4月1日～平成20年3月31日の間に岡山市による基本健康診査を受診した方のうち、昭和24年以前に生まれた方で平成19年末の時点で要介護認定を受けていなかった方を対象に、要介護認定に影響を及ぼす生活習慣と影響の大きさについて調べます。

### 5) 使用する情報

この研究では、岡山市の基本健康診査票の情報を二次利用します。データは岡山市によって既に個人情報

が削除され、個人が特定できない状態になっています。

- ・年齢、性別、就業状況、居住地（中学校区）、身長、体重、肥満度、現病歴、既往歴、家族の既往歴、現在の健康状態、精神的な健康状態
- ・喫煙、飲酒、運動や栄養の習慣、死亡、要介護認定、認知症の判定

#### 6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学地域総合研究センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院環境生命科学研究科

氏名：津田 敏秀

電話：086-251-8883（平日：9時～17時）

E-mail：tsudatos@md.okayama-u.ac.jp

ファックス：086-251-8883

ホームページ：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/envepi/>